

2023 年度事業報告書

特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織[remo]

1. 事業期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 事業の成果

2023 年度は、新型コロナウイルスが 5 類に移行したこともあり、対面での事業を進めていけるようになった。コロナの影響で中断せざるをえなかった『慰問文集再々発行プロジェクト』の取材を再開することができた。

AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]の自主レーベル第 1 弾として昨年度刊行した書籍『わたしは思い出す』は、刊行イベントや水戸芸術館主催の展覧会なども後押しし、版元在庫が完売するに至った。レーベルの売り上げは健闘した一方、書籍の制作や流通の体制を自分たちで探りながら行なった故の成果と課題が見えてきた。また重版は検討中だが、書籍がなくなった後でも書籍やプロジェクト自体を思い出してもらえるような仕掛けについて、今後の振り返りが重要となっている。

2015 年より東京都世田谷区で展開しているプロジェクト「穴アーカイブ」は、定例のプログラムに加え、生活工房の外の会場にて映像の利活用プログラムを実施した。また、今年度は水戸芸術館主催で 2 つの展覧会に参加。後半の「アートセンターをひらく」展では、2017 年より同館で企画運営していた「ホーム・ムービング!」を紹介するとともに、8 ミリフィルムで撮影された映像を観ながら語り合う交流の場「みとアカカブの会」を開催した。そして、AHA!の新規プログラムとしては、愛知県犬山市を拠点に活動する出版社兼オルタナティブスペース・Landschaft とともに、「地図」という新たなメディアに挑戦、ワークショップを実施し、その成果の一部を冊子としてまとめた。このプログラムは 2024 年度も継続予定である。

こうした AHA!のプロジェクトの動きは、月 1 回程度のペースで定期的にニュースレターとして情報発信を行っている。

Alternative Media Gathering は、今年度は 1 回開催。ご近所映画クラブは兵庫・京都・大阪で 4 回実施した。会場や参加者層は、商業施設や映画祭、自治連合会や日本語学校という多様なケースで、今後の広げ方を検討できるよい機会となった。

資金面は、事業受託や書籍販売などの収益、そして寄付金により事業の実施と管理費の維持に努めた。

設立より 20 年が過ぎ、これまでのノウハウと人脈の蓄積をどう次に活かしていくか。これまでの事業の継続と並行し、新たな展開を見据えた事業の検討と予算の確保、蓄積した資源の整理や分析を行えるような法人の体制を検証していく必要がある。

3. 事業の実施状況

<特定非営利活動に関する事業>

(1) メディア表現の発表、鑑賞機会の企画運営事業

〔事業の対象者〕 不特定一般

①AHA! [Archive for Human Activities／人類の営みのためのアーカイブ]

①ー1 「穴アーカイブ：an-archive 世田谷の8ミリフィルムにさぐる」

〔実施内容〕昭和30～50年代の世田谷の風景や生活がパーソナルな視点から記録された8ミリフィルムを貴重な共有財と捉え直し、収集・公開・保存・活用していく映像アーカイブプロジェクト「穴アーカイブ」に、2015年より企画制作として関わっている。2023年度は、具体的には、1) SNSを用いた広報活動、2) ウェブサイトを活用した交流プログラム（せたがやアカカブの会、生活工房アレコレ2023、エトセトラの時間）の設計と運営を担った。1) については、とくにtwitterを活用して、ウェブサイト公開している84タイトルに関する思い出やエピソードをひろく募集し、ウェブサイトの利活用を促進する動きを活発化させた。2) については後述のとおり。

参考URL：<https://setagaya-ldc.net/program/574/>

* 「せたがやアカカブの会」

〔内容〕かつての世田谷を記録した「8ミリフィルム」を手がかりに、いま・ここにいる私たちと映像との関係を結びなおす試み。時間をかけてじっくりと観ながら、紡ぎ出された記憶や想像の断片をじっくりと語り合う定例会。2023年度は、対面でのワークショップとハガキでのアンケート方式とのハイブリッドで開催した。ワークショップの成果は広報紙「かぶうずら」としてまとめ、生活工房ウェブサイトにて公開中。また、ワークショップの様子を映像で記録し、生活工房ウェブサイトにてダイジェストの動画として現在公開中。

参考URL：<https://www.setagaya-ldc.net/program/444/>

〔場所〕世田谷文化生活情報センター生活工房 ワークショップルームA（3月のみセミナールーム）

〔時間〕14:00～15:30

1回目

〔日時〕2023年9月9日（土）（ハガキ募集期間：2023年6月8日～9月7日）

〔参加者数〕11名（+ハガキ回答7名）

2回目

〔日時〕2023年12月10日（日）（ハガキ募集期間：2023年11月8日～12月7日）

〔参加者数〕6名（+ハガキ回答4名）

3回目

〔日時〕2024年3月3日（日）（ハガキ募集期間：2024年2月8日～2月29日）

[参加者数] 13 名 (+ハガキ回答 1 名)

*生活工房アレコレ 2023 8 ミリフィルム常設上映

[内容] 生活工房のバックヤードに眠る事々物々を小さく紹介する「生活工房アレコレ」にて、毎月 8 日、ウェブサイト「世田谷クロニクル」で公開中の映像を入れ替えながら、来場者から映像をきっかけに思い出したエピソードを募った。

[日時] 2023 年 4 月 8 日 (土) ~2024 年 4 月 7 日 (日)

[場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房 ギャラリー(3F)

*映像目録の製本作業

[内容] ウェブサイト「世田谷クロニクル」で公開中の映像 84 巻をポストカードセットにした映像目録の製本 (丁合) 作業を行い、参加者同士のゆるやかな交流の場を設けた。

[日時] 2023 年 9 月 9 日 (土) 16:00~18:00、9 月 10 日 (日) 10:00~12:00

[場所] 世田谷文化生活情報センター生活工房 ワークショップルーム B

[作業内容] 84 枚のポストカードと冊子の箱詰め

*『世田谷クロニクル』利活用プログラム ケアするホームムービー

[内容] 下北沢にある BONUS TRACK で開催された「ケアリングノベンバー2023」に参加、『世田谷クロニクル』を活用したプログラムを実施。対話しながら映像を鑑賞するワークショップと、在宅医療の現場での映像活用にまつわるトークイベントを通して、昭和の暮らしやまち並みが映るホームムービーを囲みながら、広い意味での「ケア」について考える機会とした。

ワークショップ | せたがやアカカブの会 下北沢出張編

[日時] 2023 年 11 月 4 日 (土) 14:00~15:30

[場所] 世田谷代田 仁慈保幼園ピアッツァ

[参加者数] 14 名

トーク | ケアするホームムービー 昭和の 8 ミリを携えて街を歩く

[日時] 2023 年 11 月 5 日 (日) 14:00~15:30

[場所] BONUS TRACK ギャラリー

[ゲスト] 神野真実 (デザインリサーチャー)、尾山直子 (看護師/写真家)

[ホスト] 水野雄太 (AHA!)

[参加者数] 16 名

*エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会

[内容] 目の見える人、見えない人、障害の有無にかかわらず多様な背景を持つ人と集まって、8 ミリフィルムの映像をオンラインで鑑賞。見えるもの、見えないもの、様々な視

点や参加者が持ち寄った言葉を交わしながら、「エトセトラ」の時間を楽しむ。視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップと共同で本企画を実施した。

〔日時〕 2023 年 9 月 23 日（土）、2024 年 1 月 13 日（土） 全日 14:00～17:00

〔参加者数〕 のべ 15 名

①-2 「移動する中心 | GAYA」

〔内容〕 昭和の世田谷をうつした 8 ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介した語りの場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクト。2023 年度は月に 1 度、有志によるオンラインの集いを実施した。

参考 URL : <https://aha.ne.jp/si/>

* オンラインの集い

〔日時〕 2023 年 6 月 25 日（日）、7 月 23 日（日）／8 月 27 日（日）／9 月 24 日（日）／10 月 22 日（日）／11 月 19 日（日）／12 月 24 日（日）／2024 年 1 月 28 日（日）／2 月 25 日（日）／4 月 7 日（日）

〔参加者数〕 のべ合計 37 名

①-3 ホーム・ムービング！

〔内容〕 市井の人々の記録や記憶をととして、水戸の生活風景を考えるアーカイブの取り組み。2017 年から始まった本プロジェクトでは、水戸市民から提供された 8 ミリフィルムのデジタル化と公開作業を進めてきた。2023 年度は、水戸芸術館主催の展覧会に参加し、活動紹介をする展示と関連プログラムを行った。また、展覧会終了後も期間限定ではあるが、ひきつづき街なかでの上映プログラムを発展的に継続することができた。

* みとアカカブの会（キックオフ）

〔日時〕 2023 年 6 月 25 日（日） 14:00～17:00

〔場所〕 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

〔参加者数〕 8 名

参考 URL : https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5274.html

* 『アートセンターをひらく 2023－地域をあそぶ』展

〔日時〕 2023 年 7 月 22 日（土）～10 月 9 日（月・祝） 10:00～18:00

〔場所（主）〕 水戸芸術館現代美術ギャラリー

〔来場者数〕 5353 名

〔展示プログラム〕

- ・デジタル化した4時間分の映像上映（ループ）
- ・ドキュメント「みとアカカブの会」（17分17秒）
- ・remoが制作に関わった主な書籍のアーカイブ展示

参考 URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5226.html

* 展覧会関連プログラム ホーム・ムービング！水戸の風景と生活をめぐるアーカイブ
 [日時・場所] 2023年7月22日（土）～10月9日（月・祝） 水戸市民会館（8:30～22:00）／茨城県信用組合ローンセンター水戸（16:30～22:00）／はなそう（7:00～22:00）

参考 URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5271.html

* 展覧会関連プログラム みとアカカブの会

vol.1 泉町から保和苑界隈を中心に

[日時] 2023年8月26日（土）15:00～16:30

[場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

[参加者数] 25名

vol.2 銀杏坂・水戸駅界隈を中心に

[日時] 2023年8月27日（日）15:00～16:30

[場所] はなそう

[参加者数] 10名

参考 URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5288.html

* 蔵出し上映 2023 | 8ミリフィルムに残された風景

[日時] 2023年10月10日（火）～2024年1月14日（日）

[場所] 水戸芸術館／水戸市民会館2階ラウンジギャラリー及びスタジオ

参考 URL：https://www.arttowermito.or.jp/gallery/lineup/article_5299.html

①-4 『ケアリング／マザーフード』展（2022年度より）

[内容] 水戸芸術館主催の企画展に出品作家として参加。仙台・神戸で実施した「わたしは思い出す」の企画を新たな形で巡回展示した。関連企画として、完成した書籍での読書会やアーティスト・トークを開催した。

* 展覧会

[日時] 2023年2月18日（土）～5月7日（日）10:00～18:00

[場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー

[来場者数] 6147名

* アーティストトーク

[日時] 2023年4月22日（土）14:00～15:30

[場所] 水戸芸術館会議場

[参加者数] 34 名

* 読書会

[日時] 2023 年 4 月 23 日（日）14:00～15:30

[場所] 水戸芸術館現代美術ギャラリー内ワークショップ室

[参加者数] 10 名

①-5 すみっことわすれもの

[内容] 愛知県犬山市「犬山フルまちミュージアム 2023」のプログラムの一環として、出版社兼オルタナティブスペース Landschaft より犬山のリサーチをベースとした作品制作の依頼を受け、企画・実施した。「すみっこプログラム」では、8 ミリフィルムの募集・デジタル化と上映会を開催。「わすれものプログラム」では、「忘れものセンター東古券出張所」を設け、訪れた人たちの忘れ物・迷子・道草の思い出を伺い、その成果の一部を冊子にまとめた。

* すみっこプログラム 8 ミリフィルム・アーカイブ

・交流会

[日時] 2023 年 8 月 6 日（日）19:00～20:30

[場所] Landschaft

[参加者数] 10 名

・くりかえし上映

[日時] 2023 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）13:00～16:00

[場所] 木之下城伝承館・堀部邸 1 階離れ

[来場者数] 620 名

・鑑賞&おしゃべり

[日時] 2023 年 11 月 11 日（土）19:00～20:00

[場所] Landschaft

[参加者数] 10 名

* わすれもののプログラム 忘れものセンター東古券出張所

[日時] 2023 年 11 月 11 日（土）13:00～16:00／12 月 8 日（金）15:00～17:00

[場所] Landschaft

[来場者数] 11 名

[冊子名] みちくさの地図：路上における人類の非直線的な歩行運動を記述する方法

[主催] 犬山ふるまちミュージアム実行委員会

[企画] Landschaft、みんなのアーカイブ

[企画・編集] AHA!

[発行] Landschaft

[発行日] 2024 年 2 月 29 日

①-6 『動物園にて』展

〔実施内容〕東京都美術館主催のコレクション展「動物園にて」において、記録集『はな子のいる風景』の読書コーナーを、会場内に設置。関連ワークショップ「動物園をうつす」では、戦前・戦後の上野動物園を写した8ミリフィルムの鑑賞と語り合う場を創出し、関連トークイベント「動物園と人間」では、同記録集の制作過程を話した。

〔コレクション展日時〕2023年11月16日（木）～2024年1月8日（月）

〔会場〕東京都美術館 ギャラリーA・C

*ワークショップ「8mm フィルム鑑賞会 動物園をうつす」

〔日時〕2023年11月23日（木・祝）14:00～16:00

〔場所〕東京都美術館 スタジオ

〔進行〕松本篤（AHA!）

〔参加者数〕10名

*トークイベント「動物園と人間」

〔日時〕2023年11月26日（日）13:30～16:00

〔場所〕東京都美術館 講堂

〔出演〕小原真史（東京工芸大学准教授）×松本篤（AHA!）

〔参加者数〕106名

参照 URL : https://www.tobikan.jp/exhibition/2023_uenoartistproject.html

①-7 鳥取県立美術館 アート・フィールド・リサーチ・プロジェクト

〔内容〕2025年春に開館する鳥取県立美術館のオープニングイベント『アートの種まきプロジェクト：地域連携プログラム』の一環として、県内各地でリサーチを実施。公開イベントを行った。

*公開プレゼンテーション

〔日時〕2023年12月2日（土）14:00～16:30

〔場所〕HATSUGA スタジオ

〔参加者数〕27名

参考 URL : <https://tottori-moa.jp/news/5099/>

*イベントシリーズ vol.01 『ウェルビーイングのつくりかた』を読む

〔日時〕2024年1月27日（土）14:00～16:30

〔場所〕HATSUGA スタジオ

〔参加者数〕15名

参考 URL : <https://tottori-moa.jp/event/5200/>

*ワークショップ 植木鉢をお譲りください！ 第1回 | 鉢の受付日

〔日時〕2024年2月25日（日）10:00～12:00

〔場所〕 HATSUGA スタジオ

〔参加者数〕 6 名

参考 URL : <https://tottori-moa.jp/event/5429/>

①-8 回想録『わたしは思い出す』

〔内容〕 人は経験していないことを、どのように経験できるのか―。せんだい 3.11 メモリアル交流館およびデザイン・クリエイティブセンター神戸での展覧会「わたしは思い出す」（2021 年）の内容に、新たな要素を加えて再構成。1 冊の書籍にまとめ、2023 年 1 月に AHA！出版レーベル第 1 弾として刊行。刊行後も書籍にまつわるさまざまなイベントを実施した。2023 年 6 月に版元在庫は完売し、その後は次なる展開について検討することとなった。

〔書籍名〕 『わたしは思い出す I remember ― 11 年間の育児日記を再読して』

〔発行〕 2023 年 1 月 11 日

〔仕様〕 W110×H160 / 並製 / 832 頁

〔価格〕 3,500 円（税込）

参考 URL : <https://aha.ne.jp/iremember/>

*トークイベント『わたしは思い出す』

聞き手の吉川祥一郎さんとともに、編者の松本が本書の成り立ちを中心に語るトーク。

〔日時〕 2023 年 4 月 7 日（金）19:00～

〔会場〕 blackbird books

〔参加者数〕 9 名

*トーク「わたしたちは思い出す——“私”の記録は“あなた”の記憶とどう交差するのか」

「日記屋 月日」が主催するイベント「日記祭」のトークショーに、編者の松本が参加。

〔日時〕 2023 年 4 月 9 日（日）14:00～15:00

〔会場〕 世田谷代田 仁慈保幼稚園ピアッツァ

〔参加者数〕 32 名

*対談イベント「〈想起〉という体験、〈編集〉という作為」

開催中の展示「空襲体験記を書く、一冊に編む」と「わたしは思い出す」を通して、それぞれの企画者が対談。

〔日時〕 2023 年 4 月 21 日（金）19:00～21:00

〔場所〕 オンライン開催（zoom ミーティング）

〔参加者数〕 25 名

*高森順子×松本篤×スズキナオ座談会 ―読んで、聞いて、本にする―

ほぼ同世代、早生まれの 3 人の、人の話を「読む」「聞く」「本にする」営みについての語らい。

〔日時〕 2023 年 6 月 3 日（土）13:00～

〔場所〕 梅田 Lateral

〔参加者数〕 26 名

＊刊行記念トークイベント

聞き手に北野央さんを迎え、編者の松本が本書制作の裏側などを語るトーク。

〔日時〕 2023 年 6 月 10 日（土）19:00～

〔場所〕 曲線

〔参加者数〕 18 名

＊オンライン連続講座「小さな物語の紡ぎかた」

NPO 法人 soar 主催の講座「小さな物語の紡ぎかた」の第 2 回に松本が登壇。

〔日時〕 第 2 回 2023 年 11 月 21 日（火）19:00～21:30

〔参加者数〕 25 名

①－9 戦時中の子どもたちが書いた"平和への願い"を再びなぞる。『慰問文集』再々発行プロジェクト

〔実施内容〕戦地の兵士を励ますために書かれた「慰問文」の再々発行をめざして、岐阜県美濃加茂市伊深町において関係者への取材、文献調査、複写作業を 2019 年より実施。80 年前、40 年前に綴られた『慰問文集』をとおして、戦場の父や兄に、子どもたちはどんな言葉を送ったのかを探っている。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行を踏まえ、伊深での取材・調査を再開。これに際して、プロジェクトの進捗や再々発行の構想をお伝えする中間報告会を実施したり、取り組みの様子を伝える広報誌『なぞりがき』を 2023 年 8 月と 2024 年 1 月に発行した。

参考 URL : https://motion-gallery.net/projects/nazoru_to_zureru/updates

＊現地での中間報告会

〔日時〕 2023 年 8 月 5 日（土）14:00～15:00

〔場所〕 伊深交流センター

〔参加者数〕 19 名

＊記憶を継承することの難しさから始める 100 の質問

「なぞるとずれる | 『慰問文集』再々発行プロジェクト」中間報告会

〔日時〕 2023 年 9 月 2 日（土）14:00～16:00

〔場所〕 オンライン開催（zoom ミーティング）

〔登壇者〕 黒田杏子（ON READING）、松本篤（AHA!）

〔参加者数〕 26 名

②Alternative Media Gathering_翻訳と連帯：ある寄せ場労働者の「抗日パルチザン参加者たちの回想記」

〔実施内容〕 ひととは時空と言語の隔たりを超えて共鳴する。釜ヶ崎の労働者には国境を超えた連帯の希求があった。それは組織化の闘争と弾圧の'70年代を通じて、重層的下請構造の下、分断された階級の内なる民族差別克服をむねに草の根の語学教室へと受け継がれる。そこで学んだ無名の翻訳パルチザンは、世紀を超えて人知れず無償の翻訳をつづけた。

同志社コリア研究センター・釜ヶ崎史料研究会との共催で『抗日パルチザン参加者たちの回想記』翻訳者の鈴木武さんを招き、東京でその読書会を主宰している前田年昭さんとともに民衆史をとらえなおす機会とした。

参考 URL : <https://www.remo.or.jp/ja/2023/0906-1128.html>

〔実施日時〕 2023 年 9 月 22 日（金）18:00～21:00

〔場所〕 remo / コーポ北加賀屋

〔ゲスト〕 鈴木武、前田年昭

〔聞き手〕 原口剛（神戸大学大学院人文学研究科准教授）、板垣竜太（同志社大学社会学部教授）

〔参加者数〕 30 名

③ I remember bookstores.

〔実施内容〕 Namura Art Meeting '04-'34 フリンジ企画として、1 日だけの書店を開店。

『わたしは思い出す』のほか掘り出し物を一挙公開した。

〔日時〕 2023 年 4 月 9 日（日）10:00～20:00

〔場所〕 コーポ北加賀屋

（2）ワークショップ事業

〔事業の対象者〕 不特定一般

① ご近所映画クラブ

〔内容〕 「ご近所映画クラブ」は、フランスの映画監督ミシェル・ Gondry 氏が数時間で企画から上映までを行う映画製作メソッドをもとにしたプログラム。

2023 年度は、兵庫・京都・大阪の 3 箇所で計 4 回実施。指導・進行を担当し、参加者が「企画し」「計画をたて」「撮影をする」の 3 段階を相談しながら 3 時間で映画をつくり、鑑賞会を実施した。

①-1 3 時間で映画をつくる！「ご近所映画クラブ」in 阪急西宮ガーデンズ

〔内容〕 阪急西宮ガーデンズで実施されたアートイベント「なんだこれ?!ガーデンズ?!を楽しむための10のヒントとアソビ」において、子どもが参加する作品制作として実施。完成した映画が、阪急西宮ガーデンズのショッピングセンター内で上映された。

〔日時〕 2023年7月22日(土) 13:00～17:30

〔場所〕 西宮市フレンテホール(ワークショップ)

〔参加者数〕 9名

上映「なんだこれ?!ガーデンズ?!を楽しむための10のヒントとアソビ」

〔日時〕 2023年7月26日(水)～8月29日(火)

〔場所〕 阪急西宮ガーデンズ 本館

参考 URL :

<https://frentehall.jp/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88/20230722ap/>

https://nandakore.net/2023/07/13/230630_gardens/

①-2 「ご近所映画クラブ」 in 六原

〔内容〕 京都市六原地区の自治連合会である六原まちづくり委員会より、委員会の主たる活動である「空き家対策」をテーマとした自主制作の映画作成に向けて連続レクチャーとワークショップを実施。六原地域の各所で撮影し、終了後に委員会メンバーらと上映会を行った。

〔日時〕 レクチャー：2023年11月22日(水)、2023年11月30日(木)

ワークショップ：2024年1月21日(日)

〔場所〕 やすらぎ・ふれあい館(自治会館)

〔参加者数〕 25名(地域住民、サポート学生)

①-3 ご近所日本語学校 in 大阪みなみ日本語学校

〔内容〕 日本語を学ぶ外国人に向けて、グループワークによる映画制作の機会を用いて日本語を学ぶためのワークショップとして実施。ベトナム、タイ、中国の国籍混合グループにより、辿々しい日本語ながら豊かな表現に富んだ3本の映画作品が制作された。

〔日時〕 2024年2月15日(木)

〔場所〕 大阪みなみ日本語学校

〔参加者数〕 17名

①-4 (だいたい) 3時間で映画を作る! 「ご近所映画クラブ」

〔内容〕 「大阪アジア映画祭2023」における参加型ワークショップとして実施。子どもから大人まで公募によって参加したメンバーが3つのグループに分かれ、「もりのみやキューズモール」内の各所で撮影した。完成後はまちライブラリーで上映を行った。

〔日時〕 2024年2月23日(金・祝) 12:30～17:30

〔場所〕 まちライブラリー@もりのみやキューズモール

〔参加者数〕 27名

参考 URL : <https://oaff.jp/programs/workshop2024/>

(3) 情報収集、研究及び発信事業

[実施内容] 2023 年度実績として任意団体、大学法人等からサーバ管理等を受託。

[事業の対象者] 不特定多数

(4) 活動支援事業

当法人のメディアに関するノウハウを駆使し、様々なプログラムに企画協力やトークゲストとしての参加のほか、記録映像制作、教材用 DVD、機材提供など制作支援を行った。

* ドットアーキテクツ展 関連イベント

トークイベント「イタリア社会センターに学ぶ空き物件の使い方」ゲスト

[日時] 2023 年 6 月 3 日 (土) 14:30～15:30

[ゲスト] 櫻田和也

参考 URL: <https://jp.toto.com/gallerma/ex230518/event.htm>

4. 社員総会の開催状況

第 22 回通常総会

開催日時：2023 年 5 月 30 日 (火) 20:30～22:00

開催場所：NPO 法人記録と表現とメディアのための組織

※新型コロナウイルス等感染症への感染防止を考慮し、一部オンラインによる開催

出席者数 正会員 14 名中 12 名 (うちオンライン出席 1 名、委任状 5 名)、欠席 2 名

議事内容：

2022 年度事業報告および決算報告について

2023 年度事業計画および活動予算について

役員の任期満了に伴う選任について

5. 理事会の開催状況 (場所は NPO 法人記録と表現とメディアのための組織)

開催日時：2023 年 5 月 17 日 (水) 20:30～22:00

議題内容：2023 年度事業計画について

開催日時：2023 年 7 月 1 日（土）11:00～11:30

議事内容：代表権を有する理事（代表理事）の選任について

開催日時：2024 年 1 月 24 日（水）20:30～22:00

議事内容：2023 年度中間決算について

以上